

アセトアミノフェンの自費処方が急増 新型コロナワクチンの副反応に対する予防投与が要因か

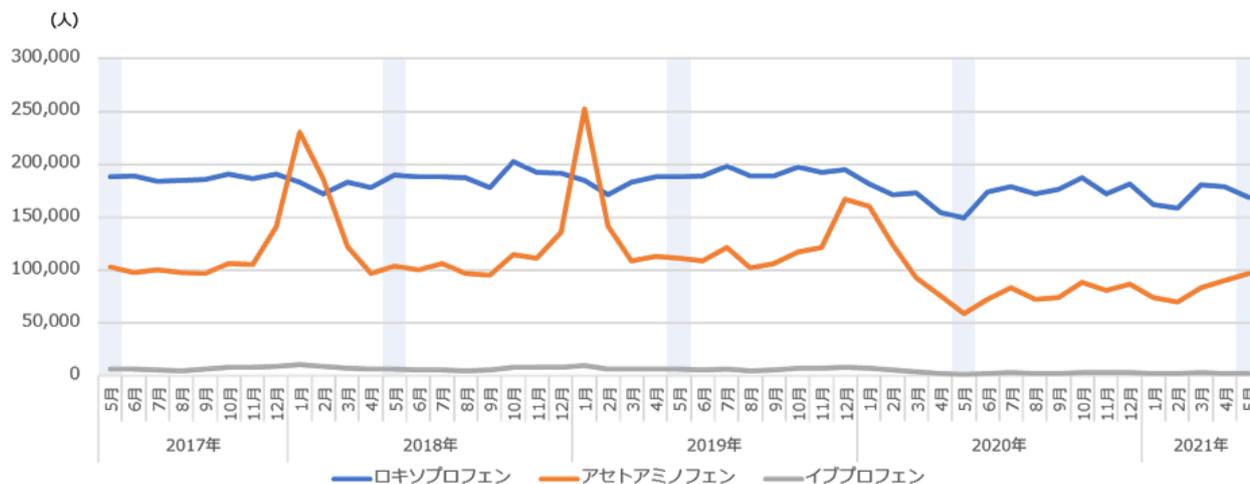
医療情報サービスを手がける株式会社医療情報総合研究所（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：佐藤 暢章、以下 JMIRI）は、独自に運用する院外調剤レセプトの2021年5月データを基に、新型コロナウイルスの感染拡大が処方箋データに与えた影響を調査・分析しました。

諸外国に比べ開始が遅れていた日本の新型コロナワクチン接種ですが、2月の接種開始から4ヶ月ほど経過し、接種人数は2,500万人を超えました。ワクチン接種が進む中、良く聞くようになったワードが「解熱鎮痛剤」です。ワクチン接種の副反応で頭痛・発熱を感じる人が多いことから、接種前に解熱鎮痛剤を購入する人が増え、品薄・欠品となるドラッグストアも出てきているようです。特にアセトアミノフェンを含む一般用医薬品の品薄が目立つようですが、医療用医薬品への影響はあったのでしょうか。

市販されている解熱鎮痛時の種類にはアセトアミノフェンや非ステロイド性抗炎症薬等がありますが、厚生労働省がワクチン接種後の発熱や痛みなどに使用できる薬剤として具体的に示したアセトアミノフェン、イブプロフェン、ロキソプロフェンについて医療用医薬品市場の動向を見ていきます。

2017年5月～2021年5月までの処方患者数の推移をみると、ロキソプロフェン、イブプロフェンは毎月ほぼ同水準で推移するのに対し、アセトアミノフェンは感染症が流行しやすい冬場に増えるという特徴が見受けられます。

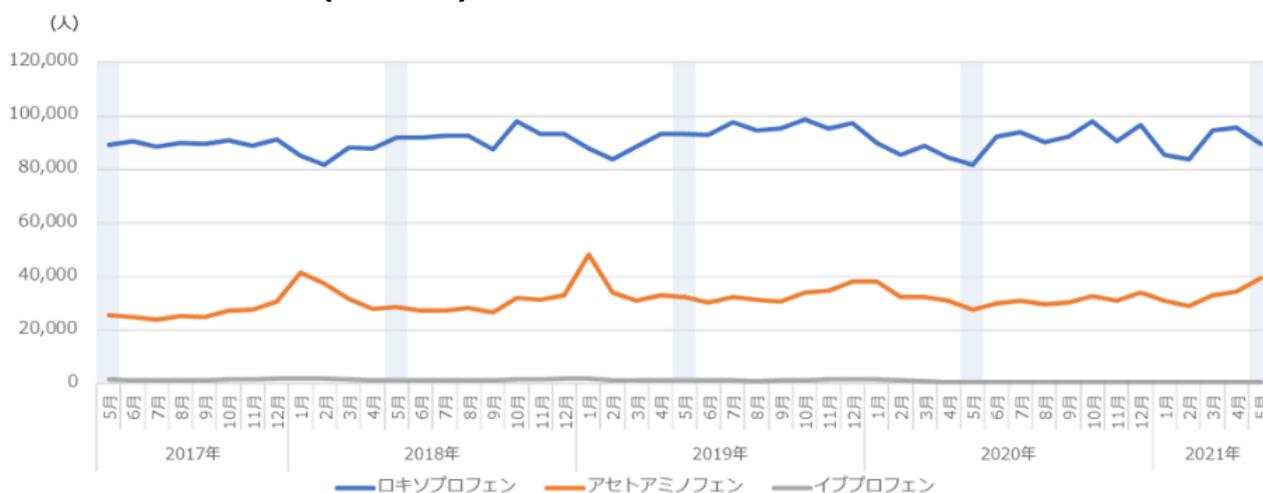
■ 解熱鎮痛剤の処方患者数推移



株式会社医療情報総合研究所 JMIRI 処方情報データベース

次にワクチン接種が進んでいる 65 歳以上の高齢者に絞って処方患者数を見ていきます。各年 5 月のアセトアミノフェン患者数を比較すると 2021 年 5 月が最も患者数の多い年になったことが分かります。5 月は RS ウイルス感染症急増の影響も考えられますが、このウイルスは例年 8 月～9 月頃にかけて患者数が急増し流行入りする傾向があり、過去の 8 月～9 月のアセトアミノフェン処方患者数の動きを見るとそれほど大きな変動が無いことから、5 月の増加はワクチン接種による発熱や痛みを抑えるために処方された可能性が高いと考えられます。

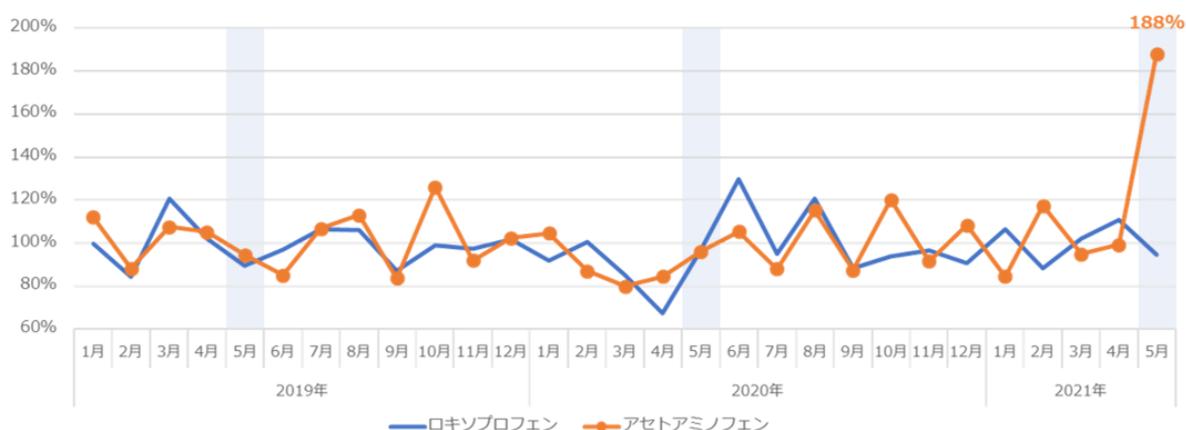
■ 解熱鎮痛剤の処方患者数推移(65 歳以上)



株式会社医療情報総合研究所 JMIRI 処方情報データベース

ドラッグストアでは副反応が出る前に解熱鎮痛剤を購入する人が増えているようですが、医療用医薬品市場にそのような動きはあるのでしょうか。副反応発生前の処方「予防投与」となり自費での処方となるため、自費での解熱鎮痛剤処方患者数を見てみると、イブプロフェンの自費処方はほとんどなく、アセトアミノフェン患者は 2021 年 5 月に前月比 88% 増(188%)と急増、ロキソプロフェンは大きな変動なしということが明らかになりました。ドラッグストアでもアセトアミノフェンを買求める人が急増しており、医療用医薬品でも同様の傾向が見受けられます。

■ 自費での解熱鎮痛剤処方患者数 前月比推移(65 歳以上)



株式会社医療情報総合研究所 JMIRI 処方情報データベース

未曾有の事態にマスクや消毒液を買い求める人が殺到し、店頭から消えたあの日から1年、今度は解熱鎮痛剤が消えようとしています。6月には職域接種も開始され、幅広い年代の人がワクチン接種を受けることになります。ワクチンによる副反応は若い年代で出やすいという報告もあり、これまで以上に解熱鎮痛剤の需要が高まる可能性があります。解熱鎮痛剤は風邪の諸症状や生理痛などに用いられる一般的な医薬品であり、これらの欠品は多くの人に影響を与えるため、しばらく傾向を見守っていく必要があります。

JMIRIは2021年7月1日、株式会社インテージリアルワールドと社名変更いたします。今後も引き続き変化をいち早く捉え、お伝えしてまいります。

https://www.jmiri.jp/files/topics/20210628_PressRelease.pdf

本件に関するお問い合わせ先

株式会社医療情報総合研究所 企画開発部 鹿島田

Eメール: cs@intage.com Tel:03-5294-5990

株式会社医療情報総合研究所 会社概要

会社名 : 株式会社医療情報総合研究所 (略称: JMIRI/ジェイミリ)

所在地 : 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 4-6 御茶ノ水ソラシティ 13階

代表者 : 代表取締役社長 佐藤 暢章

設立日 : 2005年7月14日

資本金 : 1億8,825万円 (株式会社インテージヘルスケア 100%出資)

事業内容 :

当社は2005年に設立以来、「患者中心の医療・健康情報ネットワークに基づく患者指向のマーケティング支援」をコンセプトに、医療情報(処方情報、患者情報、医師・薬剤師の声)の収集、解析、および提供・販売を行っております。

2020年7月、インテージグループ内にある医療用医薬品関連のファクトデータ事業をJMIRIに集約。今後、新たなソリューションの開発に注力してまいります。

URL : <https://www.jmiri.jp/>